

上秋津公民館報 たかお

平成23年

12月号



■ 館長：田中 辰雄 主事：高根 昌史

■ TEL 35 - 1022 ■ FAX 35 - 0569
■ E-mail kamiakizu.ko@city.tanabe.lg.jp

秋津野塾 いきいき健康増進 12月の予定

11月は、田辺市やすらぎ対策課の理学療法士 山際道代さんを講師にお招きし、「尿失禁予防について」の講座とチューリップの球根植え付けを行いました。

12月の予定は次のとおりです。皆さん、気軽にご参加下さい。

8日(木)午後 1:30 ~ 風船バレー
22日(木)午後 0:00 ~ クリスマス会

集合場所は上秋津農村センターです。



みんな元気に！ 第3回 はつらつ教室開催

- 【日 時】 12月7日(水)午後1時30分 ~ 3時
【会 場】 上秋津農村センター 大会議室
【内 容】 介護予防についてのお話 「おいしく楽しくバランスよく食べましょう」
家庭でできる、かんたん健康体操(筋力アップ運動、お口の体操など)
【対 象 者】 おおむね65歳以上の方
【持ち物等】 タオル・水分補給のためのお茶など 運動しやすい服装でお越しください。
【主 催】 田辺市社会福祉協議会 老人憩いの家 やすらぎ荘(電話 26-8575)

高尾山登山マラソン大会の中止について

毎年12月に開催してありました高尾山登山マラソン大会(マラソンの部)につきましては、本年度は中止とさせていただきます。

尚、高尾山登山の部(平成24年1月29日開催予定)の詳細については、1月号の館報でお知らせいたします。

お問合せ：大会事務局(上秋津公民館内) TEL 35-1022

秋津野の里山(その20) 神社

市杵島神社

このお宮は非常に古くから稲屋川の上流、下畑に鎮座され、別名「弁天様」とも呼ばれ、市杵島姫命をお祀りし、末社に大神宮さんを合祀されています。古くインドでは仏の国の王様のお妃様で弁説才智に富み、大衆に福、徳を施し、音楽にも長じた女神様として崇められてきました。また、中国では蚕を飼い、絹糸を作り、絹織物を織って朝廷に献上する人々を「秦氏」(ハタシ)といいますが、弁天様は秦氏の祖先であるともいわれています。

時代は遡り、秋津殿(愛洲光隆)の10世の孫、資俊が南朝に味方して大内川を出て、鷹尾山に鷹の巣城を築く時、天狗の妨害に会い、なかなか工事を進めることができないので、弁天様に七日七夜の祈願をたて、「岩井谷」で水垢離をとりました。その満願の日、神社の森から不思議にも黒雲が湧き起こり、「大倉」の千匹の猿がその雲に乗り移り、川中上空の鷹の巣で飛び降り、築城を助けたということです。そのため資俊は弁天社を城内に迎え、城の氏神として崇め祀ったと伝わっています。

天正13年、豊臣秀吉の紀州征伐により鷹の巣城は落城し、愛洲一族が秋津を去り、紀州征伐の功績により杉若越後守が紀南の地域を与えられ、上野山城城主としてこの地を治めていました。

慶長5年、関ヶ原の合戦には杉若氏は西軍豊臣側に属し、一方、新宮の城主は東軍徳川側であったため、杉若氏は兵を率いて新宮を攻め、勝利をおさめましたが、関ヶ原の合戦は徳川の勝ち戦となり、紀伊も徳川側の浅野幸長の所領となり、上野山城も浅野の城となりました。田辺に凱旋した杉若氏は、城はなく、行く所もなく、田辺で隊を解散、そと妻子を伴ってこの下畑の弁天さんの社に逃げ込みました。杉若氏は過ぎし日の振舞いを恥じ、荒れ果てた当社を修繕し、「子孫代々弁天社をおろそかにする者があつた場合には子孫が絶えても苦しくありません」と神前に誓い、髪を下ろし、仏門に入り、子息、主殿頭は百姓となり、子々孫々、当社を氏神として崇めてきました。杉若氏がこの地に住み着いて神社に力を尽くした頃が、この神社の最も栄えた時代であったそうです。

社地は広く、南西北の三面をめぐる大きな池があり、神社の森が半島の様に突出し、巨木の枝が池に垂れ、夜はたくさんの灯籠の火が水に映り、まばゆいばかりの美しさでありました。その上、祭の宵宮には弁天さんのお姿が池に映って、そのお姿を一目拝みたいと、近郷はもとより、遠方からの参詣者も多く、それはそれは大変な賑いであったということです。その後、弁天神社付近に山崩れが起り、池は壊れて無くなり、今もお社の後方に陥没の跡が残っています。

長い長い時代を経た今も下畑集落の住民の皆さんが歴史あるお宮を一生懸命お守りされています。

参考文献：「古老は語る」 文責：秋津野里山の会



上秋津ミュージックフェスティバル開催

10月30日(日)、農村センター大会議室で公民館主催のミュージックフェスティバルを開催しました。この日は、廣田 隆さん、シモーネこと下田善仁さん、ピース5!、YOSHIO BANDの4組の皆さんが出演し、フォーク、ロック、ポップス、ブルース等それぞれの持ち味を活かしたすばらしい演奏や歌を聴かせていただきました。最後に、出演者と会場の皆さん全員で「上を向いて歩こう」を歌って幕を閉じました。ご出演、ご来場いただいた皆さん、ありがとうございました。



講演会を開催しました



11月15日(火)、上秋津小学校体育館において、公民館・校区協議会・小学校育友会・中学校PTA主催による人権・教育講演会を開催しました。今年は上秋津出身の俳優 小西博之さんを講師にお招きしました。

日本では年間3万人ともいわれる方が自殺しています。小西さんはこうした事態を憂慮し、「いのちのうた」というプロジェクトを立ち上げ、自らの重い病からの復活体験を踏まえて、各地で多くの人々に「生きている素晴らしさや命の大切さ」を訴え続けられています。

「生きていること自体が奇跡」、「生きていれば何とかなる」、「夢を持ち続けること」等々、小西さんの熱く語る姿に、子供たちや多くのご来場の皆さんが聞き入っていました。

上秋津幼稚園 「絵本タイム」へお越し下さい！

日程：平成23年12月12日(月)午後1時から 場所：上秋津幼稚園

11月21日(月) 町内の原進一さん、小山裕永さん、立花美代さんが園を訪れ、園児たちとの「絵本タイム」を過ごしていただきました。約30分という短い間でしたが、子どもたちは3名の皆さんの周りに集まり、絵本を読んでもらったり、話を聞いてもらったりと、楽しい時間を過ごしました。今後もより多くの皆さんに、この「絵本タイム」にご参加いただきたいと考えています。

今月は上記日程で開催しますので、ご参加いただける方は、上秋津公民館(電話35-1022)までお申込みください。

上秋津小学校 農業体験学習

11月14日(月)上秋津小学校5年生が中山稔さんの農園でみかんの収穫体験を行いました。初めに収穫する大きさや色、はさみの使い方等について説明を受けた後、児童達はそれぞれ、中山さんやJA青年部の皆さんの指導を受けながら、各班で観察を続けてきた木から、一つ一つ丁寧に実を収穫しました。また試食もさせていただき、収穫後には、中山さん宅の選果場で選果体験もさせていただきました。



収穫したみかんは、給食時に頂いたほか、ダンボール箱にメッセージを添えて、昭和60年から交流を続けている愛知県豊田市の小清水小学校に送りました。

ご協力いただきました中山稔さん、JA青年部上秋津支部の皆さん、ありがとうございました。

5年生のみかんについての学習は今回で終了し、3学期からは、上秋津のもう一つの代表産物である梅についての学習を始めます。

上秋津中学校 農事体験学習



11月8日(火)上秋津中学校1年生44人が、みかんの袋がけや梅の剪定枝の片づけ作業等、農事体験学習を行いました。本学習は生徒たちが農作業を通して、働くことの厳しさや喜びを知り、地域の産業について学び、一方、地域では、子どもたちを見守り、育てていこうということで、学校・地域・公民館が連携して毎年実施しているものです。

今年は11戸の農家の皆さんがみかん畑や梅畑等を学習の場に提供していただき、それぞれ農作業について指導・助言をしていただきました。今回、ご協力いただきました皆さん、誠にありがとうございました。

また、次年度の学習に向けてのご意見や生徒の受け入れ等、より多くの皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

12月15日(木)、1月5日(木)、19日(木)



紙ヒモでくくり、正午までに上秋津農村センター前へ出して下さい。